

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 3年 4月 1日

事業所名 放課後等デイサービスすばる

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・パーティションを活用し学習・遊びの空間を区切っている。	・利用者の人数が多い時には、子どもの状況に応じてパーティションを利用したり配置換えするなど工夫をして、子ども達が過ごしやすいように配慮する。
	2 職員の配置数は適切である	○		・送迎等で職員の人数に対して利用者が多くなる時には、なるべく同じ活動を行い1ヶ所で見守る。	・状況を見ながら、職員同士で声をかけ合い見守りを行う。 ・事前に人数が足りているか確認を行う。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・施設の入り口はスロープと手すりがあり、玄関・トイレ等施設内には段差がない。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・常に職員同士話し合いをし、意見を出し合っている。 ・回覧ノートにて問題発生時の状況や対応、今後に向けた改善点等を共有している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・昨年度分をHPにて公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・第三者による外部評価は行っていないが、相談支援員等のアドバイスを基に業務改善に努めている。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・感染症の影響もあり例年と比べて減ってはいるが、参加した研修の内容はミーティングで共有している。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・個別支援計画にて、利用者と保護者のニーズや課題、介入方針を項目ごとに分かりやすくまとめている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・プログラム作成のリーダーを中心に1か月の活動を決め、チームで取り組んでいる。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・1か月間のプログラムを決めて子ども達に参加を促しており、様々な活動に取り組んでいる。	・コロナ感染症の為、資料館や図書館の利用に制限があるが、感染予防に努めながら課外活動の機会を増やしていきたい。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・平日・長期休暇時に応じて、一日のスケジュールを毎日提示している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・今までは好きなことをする個別活動が主だったが、集団活動を設定するようになってから皆で一緒に1つの活動に取り組む機会が増えた。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝礼にて本日のスケジュール、支援方法、担当等を確認している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・終礼にて1日の振り返りをし、今後の支援改善等に役立てている。 ・連絡ノート、日誌への記録で子ども達の様子を共有している	
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・必ず業務日誌を書き、子ども達一人ひとりの様子や支援・介入の記録を残している。		
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・支援計画作成時には、対象児のモニタリングを行っている。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 3年 4月 1日

事業所名 放課後等デイサービスすばる

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		・学期末に行われる学校主催の連絡会には必ず参加している。 ・年間行事や下校時刻は保護者から情報を頂いている。 ・学校お迎え時に1日の学校での様子をお聞きしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		・訪問看護事業所と連携し、子ども達の体調管理を行っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・直接やり取りはないが、保護者や相談支援員を通じて情報交換している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・今期対象者なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・自閉症児支援センターwaveより助言をうけ、療育の質の向上に努めている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・コロナ感染症の為に自粛している。	・障害のない子どもと交流や活動する機会は不十分。同法人内での交流や地域イベントへの参加など、感染予防に努めながら交流の場を増やしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		・コロナ感染症の為に自粛している。	
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡帳や送迎時にデイでの様子をお伝えする等、利用者についての情報共有を絶えず行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		・事業所や学校、家庭での様子を共有し、声掛けや介入方法等でうまくいった例があればそれを保護者と共有している。 ・緊急事態宣言時の受入れ状況やコロナ禍での支援内容について、頻繁に連絡を行った。 ・外出等で交通費等の費用負担がある時には、その都度連絡している。	・保護者の悩みや要望を聞き、気持ちに寄り添った支援ができるようスタッフ一同心掛けている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・電話や送迎時に保護者から相談等お聞きすると施設長に報告し、すぐ電話等で連絡をするなど対応している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・保護者会等の機会があまりなく、保護者同士の連携はあまりとれていない。今後保護者参加のイベントを開催し、保護者同士の連携を支援していきます。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・苦情や問い合わせ、質問等あれば施設長に報告をし、迅速に対応している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・活動内容や利用者の様子行事予定を載せた「すばる通信」を月1回発行し、利用者へ配布している。	・HPに加え、今年度から新たにインスタグラムでも発信している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・方が一連絡帳の入れ間違い等あればすぐに適切に対応して再発防止に努めており、間違いは減っている。	
	35	個人情報に十分注意している	○		・地域のボランティアの方に月1回読み聞かせに来ていただいている。	
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○				

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 3年 4月 1日

事業所名 放課後等デイサービスすばる

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	・緊急時対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している。	・今年度は、新たにコロナウイルス感染症対応マニュアルを策定し、感染症拡大防止に努めた。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	・1ヵ月に1度避難訓練（地震、火災、津波）を行っている。実際の避難場所まで散歩して子ども達に周知している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	・外部研修に参加し、ミーティングで研修内容を周知している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	・対象者いないため、行っていない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	・保護者の方と相談し、対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	・ヒヤリハット事例が起これば回覧ノートで共有、またミーティングでも報告して共有している。	